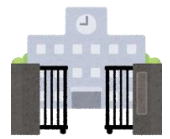


自分の行為に責任をもつのが 本物の人間である (瀬戸内寂聴)

校長 桐野 和之

今、日本人の平均寿命は何歳か皆さんは知っていますか？

男性が80.98歳、女性が87.14歳で世界有数の長寿国と言われていま
す。このような長い人生において、中学校で過ごす三年間はほんのわずかな
時間にすぎません。ただ、この中学校時代は、過ごし方によって皆さんの一
生を大きく左右する可能性のある、とても大切な三年間なのです。



だからこそ、私はこの学校に在籍しているすべての生徒たちが、毎日楽しい、充実し
た学校生活を送ってほしいと心から願っています。

ところで人間と動物の違いは何だと思えますか？

歴史の学習などでは人間は直立二足歩行ができる。また、道具をつくり、使うことが
できる。さらには、農耕や牧畜ができるのも人間だけだと学んだと思います。このよう
な違いもありますが、小説家で、尼僧でもある瀬戸内 寂聴さんは「自分の行為に責任
をもつのが本物の人間である」ということを言っています。

道路を歩いていると、飼い主に連れられた犬同士がすれ違いざまにうなり声あげてい
るのを目にすることがあります。また、公園に行くとエサを争い突きあっている鳩の姿
を目にすることもあります。

犬も鳩も、力のある側が相手を威嚇したり、エサをわが物にしたりします。
動物の世界では弱肉強食がまかり通っています。



それでは人間の世界ではどうでしょうか。

たとえば、学校では時として、生徒同士のケンカがあったり、トラブルが起
こったりします。そのような場面で、弁が立つ人が相手の言い分を聞かずに自分の考え
を一方向的に主張したり、腕力の強い人がいて相手を力で抑えつけたりしたらどうでし
ょうか。それでは犬や鳩と同じようになってしまいます。

日々の生活のなかで、お互いの意見の行き違いから口論になってしまうこともあるで
しょう。ちょっとした誤解がトラブルに発展してしまうこともあるかもしれません。

ただ、私たち一人ひとりが自分の言動に責任をもてば、つまり、口にしてよいこと、
やってよいことなのかを判断する。そのうえで、どのように伝えればよいか、行動すれ
ばよいかを考える。そして、うまく伝わらないことがあれば、ていねいに何度でも繰り
返し話をする。間違ったことや失礼があれば素直に謝る。というようなことを考え、行
動すれば、ケンカもトラブルも避けることができます。もちろん、いじめもなくすこと
ができます。そして、このような配慮ができ、自分の行動に責任をもてるのが、瀬戸内
寂聴さんが言うように、本物の人間であり、他の動物にはできないことなのです。

「自分の行為に責任をもつのが本物の人間である」という言葉を、絶えず念頭に置き、
行動してください。そのときに、あなただけではなく、すべての生徒が満足感、充実感
がもてる学校により近づくのです。

武石スキー移動教室を振り返って

第二学年 菅原考裕

『すべれるのは今年だけ、シューッと滑ろう僕たちの道を』このスローガンで始まった武石スキー移動教室。とても充実した、あっという間の4日間でした。

初日の実習は午後の2時間。履き慣れないスキーブーツに戸惑いながらも、一面の雪景色に笑顔があふれていました。初日の実習後にはほとんどの生徒が「脚が痛い。これから滑れるのか不安。」という言葉をお口にしていました。

2日目は午前2時間、午後2時間のレッスンをし、少しずつブルーク（ハの字）ができるようになり、動きがスムーズになっていました。

最終日には初歩班の生徒も中級コースを滑れるようになり、自信がついたようでした。なによりも、実習に参加した生徒全員が挫折することなく、最後までゲレンデに立てたことは大変素晴らしいことでした。

最終日にベルデ武石の方から「本当にまとまりがあり、良い学年ですね。」と話していただいたように、学年全体が声を掛け合い、個人が責任をもって行動している姿に日々の成長を感じました。

また、実行委員長のC組鎌滝さんが「いつも多くの人に支えられていることを感じ、周囲への感謝の気持ちを持ちたい。」と言っていた言葉の通り、多くの人に支えられていることに気づき、自分から行動することの楽しさと難しさを学んだ4日間だったと思います。最高学年に向けてとても素晴らしい一歩になりました。



「 雑 感 」

これを書いている今は、韓国での平昌冬季オリンピックの真っ最中。皆さんもテレビを見たでしょうか。フィギュアスケートの羽生選手、スピードスケートの小平選手や高木選手、その他の選手を。

オリンピックの大舞台でふだんの実力をしっかりと発揮し、その結果としてメダルを獲得した選手が日本では過去最高となる記録となりました。



自ら目標を定め、練習を重ね、ひたむきに努力をして、夢を実現しようとしてきた成果が見事に結実し、本当に素晴らしかったと思います。

ところで、このように活躍した選手たちの試合後の言動や行動をよく聞き、見ているとさらに凄いことがわかりました。

例えば小平選手。テレビで見た、金メダルを獲得した女子500mの様子からは素晴らしい滑り、完璧な印象を受けました。

しかし、彼女は試合後のインタビューで「今日の試合でまた新たな課題が見つかったので明日またすぐに滑りたい」と言ったのです。スケートが好きだということはよくわかりましたが、また新たな課題を解決するためにすぐに練習し、滑りたいという執念にも似た取組の姿勢、気持ちに大変驚きました。

また、羽生選手は翌日の報道陣の問いかけに「今度は誰も飛んだことがない4回転半ジャンプを飛ばしたい」と言ったのです。

二人とも目指してきたことに到達し、競技が終わったばかりです。まだまだ勝利の余韻に浸ってもいいときだと思います。なのに、さらなる頂を目指し、目標を立て、新たに動き出したいと言っているのです。この二人からは恐ろしいぐらいの前向きな取組の姿勢、強い気持ち、開拓精神や執念を感じました。大きな舞台で見事なまでに実力を発揮する裏には、これでもかという努力の積み重ねがあったのです。

皆さんどうでしょう、ふだんの学習や生活を振り返って考えてみてください。できないことから逃げていませんか。できないことに対して繰り返し努力していますか。できないなら、できるまでやろうとしていますか。

努力すれば必ず目標に到達するわけではありません。でも、成功している人は間違いなく努力を積み重ね、成功しているのです。私も2人の選手からあらためて考えるきっかけをもらいました。



進路・人権学習 「義肢についての講話」

3月1日(木)の第6校時、貫井5丁目にある吉田義肢装具研究所の方を講師にお招きし、進路・人権学習として「義肢についての講話」をしていただきました。

病気やケガなどで体が不自由になった方を手助けしようとする気持ちを育む、また、広く職業について知るという目的で実施しました。

講話では、ケガをしたり、病気やケガで手足を切断、欠損したりした人のために義肢装具を制作する過程や具体的な内容についてお話をいただきました。

特に義肢装具制作には採型、モデルづくり、仮合わせ、修正、制作という流れの中で、いろいろな試行錯誤がされることで進んでいくことを詳しくお話しいただきました。

また、生徒たちは本物の義肢装具を身にまったり、装着させてもらう中で実際のようなすべを体感し、その素晴らしさや大切さ、有効性を学ばせていただきました。

完成した義肢装具をつけてのリハビリのようすも画像を通じて見せていただき、装具そのものが、希望を失いかけていた方々に大きな勇気や意欲を与えていることを知り、大きな驚きや感動がありました。大変、有意義な時間を過ごさせていただきました。



朝礼講話 3 / 12

皆さんは元バスケットボール選手のマイケルジョーダンを知っていますか。

NBAのシカゴカブスに所属し、優勝6回、MVP5回、得点王のタイトルを10回獲得、オリンピックにも二度出場し、中心選手として2度金メダルを取りました。彼のよく言っていた言葉にこのようなものがあります。

「私は何度も何度も失敗した。それが、私が成功した理由だ」
彼が小さい頃は周囲の子たちより背が低かったために、試合に出ることができませんでした。高校に入学したときは代表チームに入ることができませんでした。

その時代のことを彼は「私は9000回以上シュートを外し、300試合に敗れ、決勝シュートを任されても26回も外した」と言っています。この挫折を乗り越えて注目を集める選手に成長したのです。

彼がプレーでジャンプし舞い飛ぶ姿はエアジョーダンと言われ、躍動感、優雅さは観客を常に感動させました。

ジョーダン選手は、常に目標を定め、練習を重ね、ひたむきに努力をすることで「夢」を実現しようとしてきました。その努力を次のように言っています。

「何かを始めるのは怖いことではない。怖いのは何も始めないことだ」
失敗すると、次も失敗してしまうという怖さから、もう一度挑戦する勇気が出てこなくなります。そんな時はジョーダンの「失敗」することが「成功」への一歩だ、ということを出してほしいです。



部活動等の報告

バドミントン部…第10回第3ブロック中学校1年生研修大会:平成30年2月12日(月・祝)
(練馬区・中野区・杉並区の代表によるブロッ

ク大会)

<男子シングルス>結果:1年 Gさん ベスト8

<女子シングルス>結果:1年 Yさん 第1位

剣道部 …第3ブロック研修大会:平成30年3月4日(日)

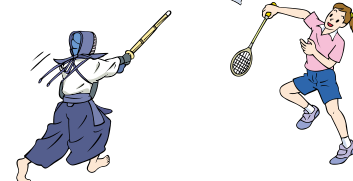
結果:男子団体 一回戦(対練馬東中) 敗退

女子団体(石神井南中と合同) 一回戦(対井荻中・西宮中合同) 敗退

茶華道部…お免状「学校許状・入門」授与 ※大日本茶道学会より与えられました。

3年 Oさん、Kさん、Iさん

今後とも稽古に励んでいきます!



国語科より

練馬区小中連合書き初め展:平成30年1月27日(土)~平成30年1月28日(日)

出品者 1年 Iさん、Sさん、Sさん、Kさん

2年 Nさん、Sさん、Oさん、Mさん

3年 Oさん、Kさん、Oさん、Sさん

東京都中学校書写研究会主催 第56回書き初め紙上展

金賞 1年 Iさん

2年 Nさん、Sさん、Oさん、Mさん

3年 Oさん、Kさん、Oさん、Sさん

